

1 改築の考え方

馬込第三小学校は、築60年を経過した校舎が全体の過半を占めるなど老朽化が進んでいることから、良好な教育環境を確保するため、全面改築に向けて基本構想・基本計画を策定しました。

改築にあたっての基本的な考え方をまとめるため、大田区では令和元年度から、学校関係者や地域の方々のご協力のもと、「馬込第三小学校改築計画協議会」を設置し、具体的な検討に着手しました。大田区の上位構想や馬込第三小学校の歴史や伝統、教育理念の内容を踏まえながら、改築計画協議会などにおいて、広く意見交換を行い、検討を進めました。

また、施設を複合化し、学校教育の向上に資する教育機能と、地域特性などに応じた機能を置き込むこととしました。複合化によって、馬込第三小学校の特色を活かし、新たな教育と地域力の拠点となることを目指します。

今後は、改築に向けこの基本構想・基本計画にまとめた考え方に基づき、設計から工事へ取り組みを順次進めてまいります。

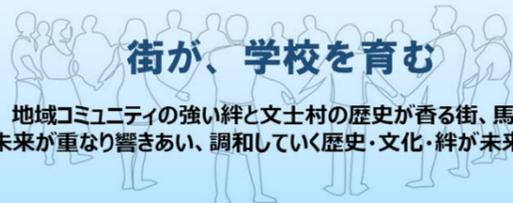
本校改築の基本的な前提条件

- 体育館は、工事期間中も（既存体育館か新体育館のいずれかを）利用できる。
- 改築後の校庭は、既存と同等以上の面積を確保する。
- 給食は、工事期間中も自校給食を継続する。

2 改築の基本方針（コンセプト）

馬込第三小学校改築の基本方針（コンセプト）を以下のとおりまとめました。

プロジェクト  
コンセプト



学校のコンセプト

豊かな空間が馬込の未来を育む

学校と地域が一体となり地域力を活かして子ども達を見守り・育む学びの場

複合用途と地域利用のコンセプト

色濃く残る馬込の歴史とふれあう

未来に色濃く残る馬込の歴史を継承し、交流の輪が広がる地域交流拠点

改築後がプロジェクトの本当のスタート 成長し続ける、新しい馬込第三小学校のはじまり

学校のコンセプト

豊かな空間が馬込の未来を育む

設計方針 下記の4つの視点で整理

- 生活の場**
  - ・馬込の歴史や自然（花・草木）、生き物とふれあう情操教育環境
  - ・昇降口、廊下、階段、トイレなどの水回りは明るく使いやすい快適な環境
- 学びの場**
  - ・充実した創作、実験、音楽活動とアクティブラーニングを可能とする環境づくり
  - ・図書室は、能動的な学びを促す開かれた学習拠点「学びのひろば」
- 交流の場**
  - ・歴史・地域特性を感じながら日常的な異学年交流を促す仕掛けづくり
  - ・多目的室は、特徴ある馬三の活動をフレキシブルに行える交流活動拠点
- 安心・安全**
  - ・教職員と地域みんなの目で見渡し校内全体の防犯性を高める見守り環境
  - ・歩車の分離、正門・昇降口前のひろばなど、ゆとりのある安全なアプローチ

注釈) 「アクティブラーニング：主体的・対話的で深い学び」一方向な講義形式の教育とは異なり、能動的な学びへの参加を取り入れた学習方法の総称。

複合用途と地域利用のコンセプト

色濃く残る馬込の歴史とふれあう

馬込文士村の回遊性を生み出す場所として、室生犀星をはじめとする馬込文士資料等の展示施設をつくります。校庭に設置されている室生犀星の離れについては、風雨による経年劣化から守り、現状の姿を後世に継承するために屋内に移設します。移設に当たっては「いおの森」と一体的な雰囲気演出できるようにします。また、これまで室生犀星の離れの中で行っていた茶道体験については、いおの森と室生犀星の離れを眺めながら茶道体験が行える畳スペースをつくります。

また、馬込地区は学校を中心とした地域交流イベントが盛んです。そのため、地域の方と学校との活発な交流ができるよう大きめの地域集会室もつくります。

馬込地区の特色

馬込文士村や馬池洗と一体化した郷土博物館を中心とした文化的施設や史跡等の回遊性を活かした地域づくりをします。

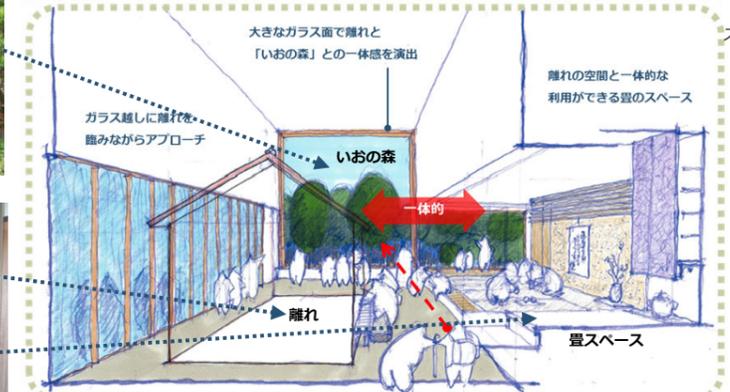


室生犀星の離れは複合用途建物内部に展示物として保存

地域の皆様が大切にされている室生犀星の離れは、現状保存を重視し、今の雰囲気を大切に残すことを念頭に検討しました。現在、屋外にある室生犀星の離れについては、建物内部に保存することで、風雨による経年劣化から守り、現状の姿を後世に継承させることが出来ます。



離れの展示、畳スペース、展示室全体をいおの森と一体的な空間として演出



(図) 室生犀星の離れを建物内部に置き込んだイメージ。室生犀星の離れといおの森に一体性を持たせるほか、茶道体験を行えるよう畳スペースを用意します。

### 3 現状の配置図及び改築後の配置案

本計画は既存校舎を利用しながら建替えを行うため、教育環境や工事手順を考慮しながら建物配置を検討しました。その結果、現校舎と形状に近い配置案を選定いたしました。選定にいたる主な理由は以下のとおりです。

- ・日当たりの良い、広いグラウンドが確保できる
- ・正門のひろば及び大階段が高低差の大きい敷地条件をうまく活かしている
- ・環状7号線と教室の距離が十分に確保でき、騒音の心配が少ない
- ・建物の基本的な位置が現状と大きく変わらないため、周辺環境の変化が少ない

【現況の配置図】

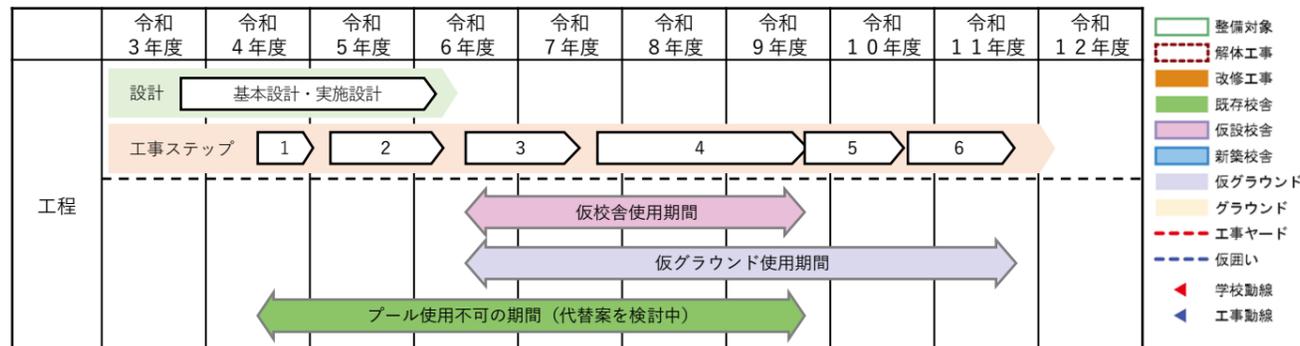


【改築後の配置案】



### 4 スケジュール及び工事ステップ(想定)

今後のスケジュール



- 整備対象
- 解体工事
- 改修工事
- 既存校舎
- 仮設校舎
- 新築校舎
- 仮グラウンド
- 工事ヤード
- 仮囲い
- ▲ 学校動線
- ▲ 工事動線

※本資料における「スケジュール及び工事ステップ」は現時点で想定しているものであり、今後の基本設計・実施設計の詳細な検討に伴い、変更する可能性があります。

【ステップ1】

- プール解体

最初にプールを解体し、工事中の作業や仮グラウンドとして使用します。



【ステップ2】

- 仮設校舎建設・仮グラウンド整備  
既存体育館改修

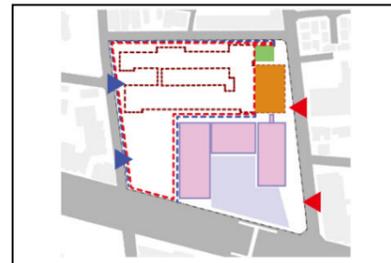
工事期間中に教員や児童が生活する仮設校舎を建設します。



【ステップ3】

- 既存校舎解体

既存体育館以外の校舎を解体します。



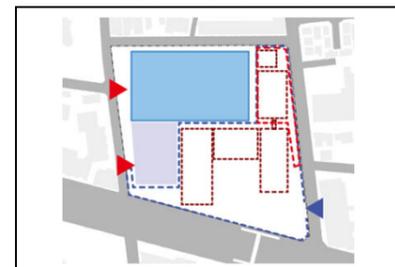
【ステップ4】

- 新校舎建設・仮グラウンド整備  
新校舎を建設します。



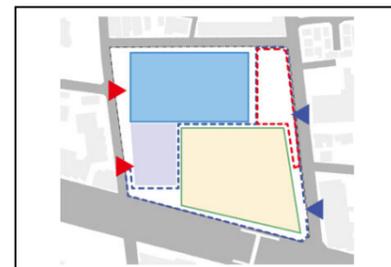
【ステップ5】

- 仮設校舎・既存体育館・防音壁解体  
仮設校舎と既存体育館を解体します。



【ステップ6】

- 外構工事・グラウンド整備  
外構とグラウンドを整備し、竣工します。

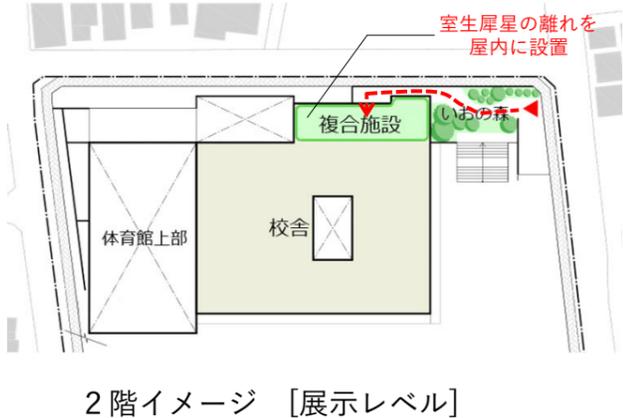
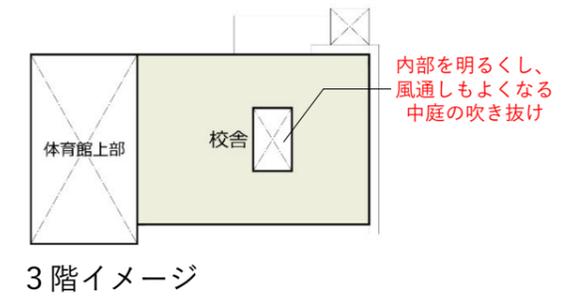
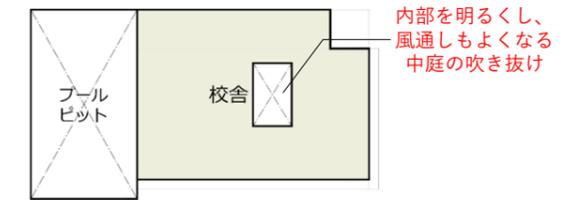
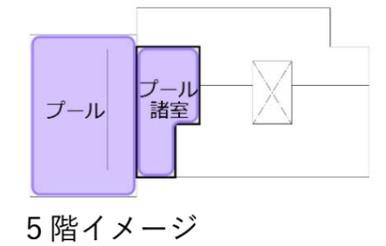
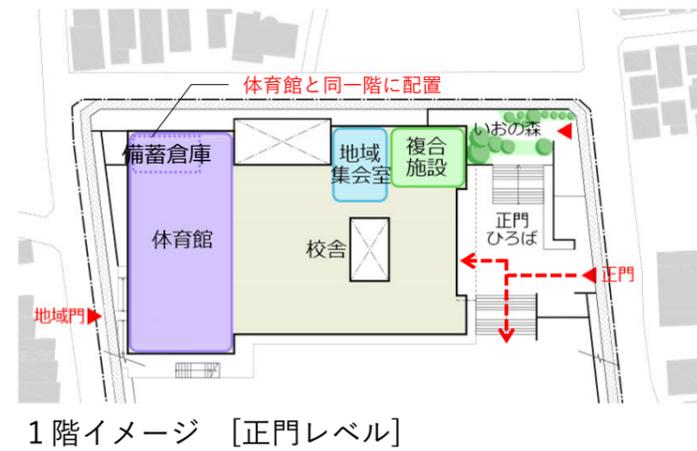


### 5 ゾーニングイメージ

各階のゾーニングイメージ及び断面イメージは、以下のとおりです。

※本資料における「ゾーニングイメージ」は現時点で予定しているものであり、今後の基本設計・実施設計の詳細な検討に伴い、変更する可能性があります。

予定建物規模  
延床面積：約10,300㎡(複合施設含む)  
階数：地上5階、地下1階建て  
構造：鉄筋コンクリート造



※学校の適切な教育活動の確保や防犯等を考慮し、学校施設と複合施設は区画を分けます。

